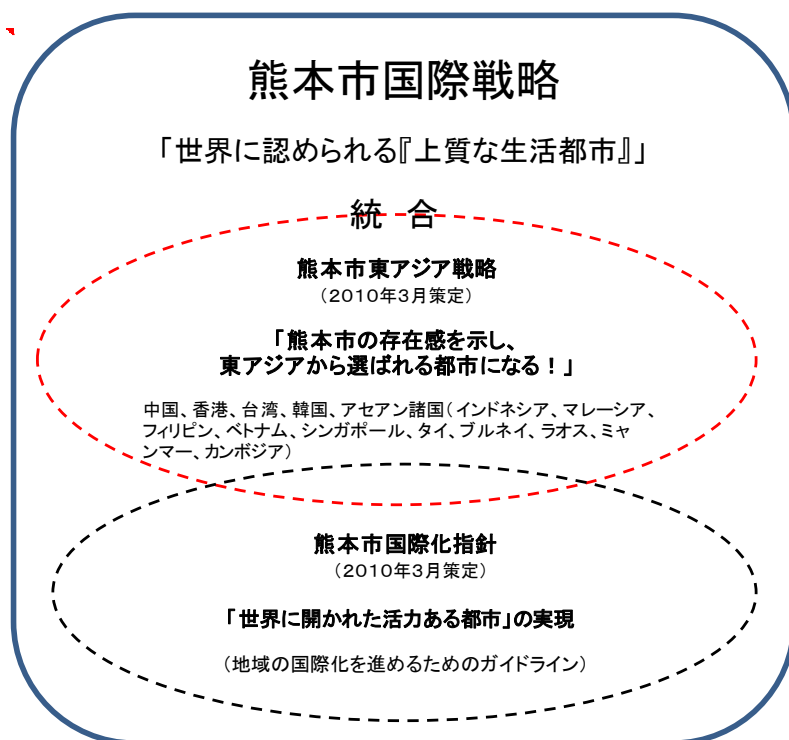


2 計画の基本方針

(1) 計画の位置づけ

「熊本市第7次総合計画」及び「熊本市震災復興計画」に基づく部門計画と位置づけ、「熊本市国際化指針」及び「熊本市東アジア戦略」を統合した全庁的な取組の方針とします。



(2) 計画の期間

熊本市第7次総合計画と合わせ、2023年度（平成35年度）までを計画期間とします。また、社会経済動向の変化に対応するため、必要に応じて中間見直しを行います。

(3) 目指す国際都市の姿

世界の中での本市の魅力として、清らかな地下水、豊かな緑、良質な農水産物などの豊かな自然環境や、医療・高等教育機関の集積、安全・安心、比較的安価な物価などの良好な生活環境、市街地にそびえる勇壮な熊本城、水前寺成趣園などの文化的景勝地、能楽や武道などに象徴される武家文化などの伝統ある歴史文化などが挙げられます。

今後、国内外の誰もが訪れてみたくなる、住んでみたくなる、そして住み続けたいと思えるよう、これらの魅力を大切に守り伝え、磨き上げるとともに、時代の先を行く新たな価値や魅力を創造し、これらを世界に向けて発信していきます。そこで、次のとおり、本市が目指す国際都市の姿を定めます。

「世界に認められる『上質な生活都市』」

世界に向けてくまもとの復興と新しいまちの姿を示し、
海外からの交流人口を増やし、本市への投資を呼び込むなど
地域の活力向上と都市の成長につなげる海外展開と
その土台となる多様性や創造性を育む地域の国際化を戦略的に進め、
世界に認められる上質な生活都市となる！

(4) 基本的取組の方向

目指す国際都市の姿を実現するため、基本的取組の方向を次のとおり掲げます。

①

人、モノ、情報及び文化の交流が活発となるよう
戦略的に海外展開を進めます

②

多文化共生や人材育成などの観点から
地域の国際化を進めます

(5) ターゲット地域

交流・連携のメリットが見込まれる場合は、東アジアはもとより、欧州、北米、オセアニアなど、世界の都市・地域と交流・連携の可能性を探ることとします。

特に、海外からのインバウンド増に向けては、新たな観光客層の開拓に努め、従来の東アジアに加えて、欧米豪からの誘客を図ります。

海外へのプロモーションに際しては、九州のゲートウェイである福岡市との連携をはじめ、オール九州で取り組みます。

なお、友好姉妹都市等との交流においては、双方の都市の特性、強みを生かせる重点分野を中心にした交流を基本とします。